

第24回総合競技大会報告

「測量競技の部」

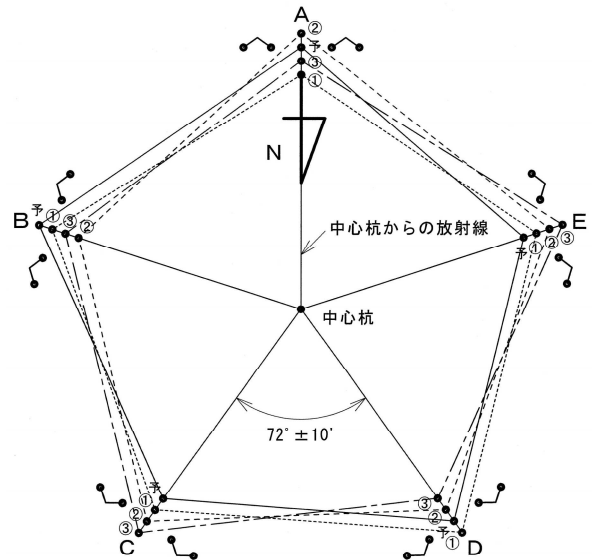
- 1 期 日 平成30年5月26日(土)
- 2 会 場 愛知県立愛知総合工科高等学校
- 3 参加校 6校18名 愛知総合工科 一宮工業 岡崎工業
豊橋工業 半田工業 市立工芸
- 4 競技時間 外業 36分(36分を超える場合失格とする。)
内業 27分(3名のうち、1名でも27分を超える場合失格とする。)
- 5 競技課題 閉合トラバース測量とその計算(1チーム3名)

(1) 外業作業

- ア 方位角測定は、A点に器械を据え付け、あらかじめ打たれたN点を磁北とみなし測線ABまでの右回りの角とする。また、各チームが競技中にピンポールを立てて観測する。
- イ 外業は選手が以下の手順で必ず交代する。
選手Ⅰが、スタートから第一方位角とA点における器械の据付と測角・測距
選手Ⅱが、A点からの器械の移動とB点とC点における器械の移動、据付と測角・測距
選手Ⅲが、C点からの器械の移動とD点とE点における器械の移動、据付と測角・測距、E点から開始地点までの器械の移動
- ウ 測距は、光波により各測線とも必ず4回測定し、各測角時に行うものとする。
- エ 角観測は、単測法で正反対回とし、トラバースの内角を測定する。
- オ 観測はA→B→C→D→Eと左回りに測定する。この測定の順番を変えてはならない。
ただし、再測が必要な場合は全ての点の測定が終わってから、必要とする測点で測定してよい。その場合、選手ⅠがE点からの器械の移動、据付と測角・測距をする。

(2) 内業競技

- ア 計測員の合図によって始まり、外業の野帳データをもとに、トラバース計算書を3人が各自で計算し、完成させる。
- イ 測角誤差の調整はまず各測点に均等に配分し、余った分は測定角度の大きい測点から順に配分する。
なお、最後に配分する際に同じ測定角度があった場合には、計算書で上方の測点に配分する。トラバース計算の調整量は、誤差があった場合には必ずコンパス法を用いて、合緯距、合経距の計算はA点を原点として行う。



6 審査方法

測量競技委員会で定めた基準によって採点し、順位を決定する。

$$100 + 20 \times 3 + 150 + 90 \times 3 + 70 = 650 \text{ 点満点}$$

外業時間点 内業時間点 外業取組点 内業計算書 外業精度

外業や内業の競技において技術上の問題や不正がなかったかを審査したうえで決定する。

同点の場合、①「審議項目内容」、②「外業取組点」、③「外業精度点」、④「内業計算書点」、⑤「外業時間点+内業時間点」、⑥「外業・内業の総時間」の順に審査する。



測量競技